

# 貴乃花親方 当選

## 日本相撲協会理事選

任期（2年）満了に伴う日本相撲協会の理事選挙は1日、東京・国技館で8年ぶりの投票があり、即日開票の結果、初めて立候補した元横綱の貴乃花親方（37）が当選した。現行制度では、5番目の若さの年少理事となる。力士出身の理事定員10人に対して、現職8人と新顔3人の11人が立候補していた。大島親方（元大関旭国）が落選した。決選投票はなかった。

投票総数は111票で、貴乃花親方は10票を集めた。大島親方は8票だった。最多は武蔵川親方（元横綱三重ノ海）らの11票。

大相撲の52部屋は高田川部屋を除いて五つの一門に分かれ、それぞれの理事候補者を調整して無投票で終わるのが通例。しかし、貴乃花親方は二所ノ関一門の候補者調整に応じず、一門を離脱して立候補。各一門の締め付けが厳しく、二所一門を事実上破門された貴乃花親方派の6親方しか支持を公言していなかったが、改革への



貴乃花親方

思いが強い貴乃花親方へ期待する票が伝統の一門の枠を超え集まった。投票は単記無記名で行われた。

当選したその他の理事は次の通り。北の湖（元横綱＝10票）、陸奥（元大関霧島＝10票）、鏡山（元関脇多賀竜＝10票）、放駒（元大関魁傑＝11票）、二所ノ関（元関脇金剛＝11票）、九重（元横綱千代の富士＝10票）、友綱（元関脇魁輝＝10票）、出羽海（元関脇鷲羽山＝10票）